

令和4年度 定期作況報告

(7月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稲の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

6月下旬の平均気温は平年より2.0℃高く、降水量は平年の320%、降水日数は平年より2.6日多く、日照時間は平年の73%であり、高温・多雨・寡照に経過した。

7月上旬の平均気温は平年より3.1℃高く、降水量は平年の14%、降水日数は平年より1.5日少なく、日照時間は平年の101%であり、高温・少雨に経過した。

7月中旬の平均気温は平年より0.5℃高く、降水量は平年の285%、降水日数は平年より1.2日多く、日照時間は平年の53%であり、多雨・寡照に経過した。

6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年より1.9℃高く、降水量は平年の189%、降水日数は平年より2.0日多く、日照時間は平年の74%であった。

気象表

(アメダス岩見沢)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下旬	19.6	17.6	2.0	23.9	22.9	1.0	16.4	13.5	2.9	81.0	25.3	55.7	6.0	3.4	2.6	41.2	56.6	△ 15.4
7月	上旬	22.7	19.6	3.1	28.6	24.8	3.8	18.5	15.6	2.9	4.5	32.4	△ 27.9	2.0	3.5	△ 1.5	57.6	57.3	0.3
	中旬	21.5	21.0	0.5	26.1	26.5	△ 0.4	18.4	17.0	1.4	70.5	24.7	45.8	4.0	2.8	1.2	36.3	68.2	△ 31.9
平均(合計)		21.3	19.4	1.9	26.2	24.7	1.5	17.8	15.4	2.4	156.0	82.4	73.6	12.0	10.0	2.0	135.1	182.1	△ 47.0

注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

II 作況

5月20日 平年並

事由： 播種は平年より3日遅い4月19日に行った。4月第5半旬は高温多照で経過し、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。出芽後は、5月第1半旬を除いて日照時間が多く、5月第2半旬以降は高温で経過した。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時の苗形質は、草丈が12.0-13.5cmで平年より長く、茎数は1.0本/個体で平年並であった。主稈葉数は3.4-3.7枚で平年よりやや多く、第1葉鞘高は2.6-2.8cmで平年並、100本あたりの地上部乾物重は2.68-2.75gで平年より大きかった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.20-0.22で平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや不良

事由： 移植直後の5月第5半旬は高温多照に経過し、活着は良好であった。5月第6半旬から6月第3半旬は低温に経過したため、生育は緩慢となり、葉の黄化や葉先枯れが生じた。6月第4半旬は高温に経過し、生育は回復傾向となり主稈葉数は7.0-7.4枚で平年並であったが、草丈および茎数はそれぞれ23.7-23.9cm、293-297本/m²で平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

7月20日 平年並

事由： 6月第5半旬から7月第3半旬まで高温に経過し、幼穂形成期は平年並、止葉期は平年より2日早かった。草丈は73.8-75.2cmで平年より長く、主稈葉数は10.9-11.2枚で平年よりやや多く、茎数は674-761本/m²で平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.19	4.16	3	4.19	4.16	3	
出芽期 (月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1	
移植期 (月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	
幼穂形成期 (月.日)	6.30	6.30	0	7.01	7.01	0	
止葉期 (月.日)	7.15	7.17	△ 2	7.16	7.18	△ 2	
出穂期 (月.日)		7.27			7.28		
成熟期 (月.日)		9.13			9.13		
穂揃日数 (日)		6.8			6.8		
登熟日数 (日)		48			47		
生育日数 (日)		150			150		
草丈(cm)	移植時	13.5	10.3	3.2	12.0	10.3	1.7
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.4	3.1	0.3	3.7	3.3	0.4
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.8	2.8	0.0	2.6	2.6	0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.75	2.22	0.53	2.68	2.22	0.46
地上部乾物重/草丈	移植時	0.20	0.22	△ 0.02	0.22	0.22	0.00
草丈 (cm)	6月20日	23.9	28.0	△ 4.1	23.7	28.0	△ 4.3
	7月20日	73.8	67.0	6.8	75.2	66.6	8.6
茎数 (本/m ²)	6月20日	293	310	△ 17	297	369	△ 72
	7月20日	674	674	0	761	787	△ 26
主稈	6月20日	7.0	7.0	0.0	7.4	7.2	0.2
葉数 (枚)	7月20日	10.9	10.1	0.8	11.2	10.5	0.7
	止葉	11.0	10.1	0.9	11.3	10.5	0.8
稈長 (cm)			65.7			64.1	
穂長 (cm)			15.9			16.6	
穂数 (本/m ²)			642			751	
一穂粒数 (粒/本)			50.8			41.0	
粒数 (千粒/m ²)			32.6			30.8	
稈実歩合 (%)			94.5			93.9	
稈実粒数 (千粒/m ²)			30.8			28.9	
登熟歩合 (%)			89.0			86.8	
登熟粒数 (千粒/m ²)			29.0			26.7	
粒摺歩合 (%)			78.2			75.4	
屑米歩合 (%)			5.2			7.7	
精玄米千粒重 (g)			22.9			23.4	
わら重 (kg/a)			61.6			62.4	
精粒重 (kg/a)			75.1			73.6	
精玄米重 (kg/a)			58.7			55.5	
屑米重 (kg/a)			3.2			4.6	
収量平年比 (%)			100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土

施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播種量 : 中苗紙筒=180cc/箱

栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m² 4本植え

移植方法 : 手植え

反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和4年6月下旬～7月中旬までの概況は次のとおりである。

6月

下旬：平均気温は平年より1.7℃高く、降水量は平年比249%、日照時間は89%であり、高温・多雨・寡照であった。

7月

上旬：最高気温が平年より3℃高く、降水量は合計3mmであり平年の12%、日照時間は平年比46%であり、高温、少雨・寡照であった。

中旬：最低気温が平年より1.5℃高かった一方最高気温は0.6℃低く、平均気温は平年より0.6℃高く、7月10日は真夏日であった。降水量は300%、日照時間は123%であり、高温・多雨・多照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より1.8℃高く、降水量は平年日180%と多く、日照時間は平年の83%であり、高温・多雨・寡照であった。

気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下旬	18.6	16.9	1.7	22.6	21.9	0.7	15.5	12.8	2.7	64.0	25.7	38.3	7.0	2.9	4.1	52.8	59.1	△ 6.3
7月	上旬	21.8	18.8	3.0	26.9	23.8	3.1	17.7	14.8	2.9	3.0	25.3	△ 22.3	2.0	3.3	△ 1.3	24.3	53.4	△ 29.1
	中旬	20.7	20.1	0.6	24.6	25.2	△ 0.6	17.5	16.0	1.5	62.0	20.7	41.3	4.0	2.4	1.6	50.0	40.6	9.4
平均(合計)		20.4	18.6	1.8	24.7	23.6	1.1	16.9	14.5	2.4	129.0	71.7	57.3	13.0	9.0	4.0	127.1	153.1	△ 26.0

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

注6) 日照時間は数値異常の検証のため、長沼アメダスの数値である。

1. 秋まき小麦(令和3年播種)

令和3年10月20日作況：良

事由：播種期は平年より5日早い9月15日であった。播種後の気象は良好で、出芽期は平年より5日早い9月22日となった。出芽が早かったため、10月20日現在で草丈、茎数ともに平年を上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

令和4年5月20日作況：平年並

事由：越冬前後の茎数は平年より多かった。積雪期間は平年より6日短い112日であったものの、平年より多雪であったことから、雪腐病による冬損程度が平年よりやや大きかった。5月20日現在の草丈はやや長く、茎数はほぼ平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和4年6月20日作況：平年並

事由：幼穂形成期にかけて、気温が平年よりやや高く多照であったことから、出穂期は平年より2日早い5月30日となった。6月20日現在の草丈は平年より長く、茎数はほぼ平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

令和4年7月20日作況：平年並

事由：6月6半旬の風雨により倒伏が一部で発生した。成熟期は平年より3日早い7月14日となった。また、成熟期における稈長、穂長および穂数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名		きたほなみ		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
播種期	(R3.月.日)	9.15	9.20	△ 5
出芽期	(R3.月.日)	9.22	9.27	△ 5
出穂期	(R4.月.日)	5.30	6.1	△ 2
成熟期	(R4.月.日)	7.14	7.17	△ 3
冬損程度	(0:無～5:甚)	1.5	0.4	1.1
草丈	R3.10.20	24.2	18.7	5.5
(cm)	R4.5.20	57.8	55.8	2.0
	R4.6.20	104.3	97.0	7.3
茎数	R3.10.20	999	702	297
(本/m ²)	越冬前(11月)	2180	1371	809
	越冬後(4月)	2750	2200	550
	R4.5.20	1394	1328	66
	R4.6.20	895	836	59
成熟期に	稈長 (cm)	90	88	2
おける	穂長 (cm)	8.9	8.9	0.0
	穂数 (本/m ²)	746	777	△ 31
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.3	1.0	△ 0.8
子実重	(kg/10a)	933	712	221
容積重	(g)	830	811	19
千粒重	(g)	40.3	39.1	1.2
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比 (%)		131	100	31

注1) 平年値:前7か年中、平成29年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦

5月20日作況：やや良

事由：本年の根雪終（融雪剤散布）は、平年並の3月29日であった。播種期は平年より3日早い4月11日、出芽期は平年より4日早い4月24日であった。出芽期が早かったことから、草丈は平年より長く、茎数も平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

6月20日作況：やや良

事由：5月中下旬の幼穂形成期前後にかけて、気温は平年よりやや高く、出穂期は平年より5～6日早かった。6月20日現在の草丈は平年よりやや長く、茎数は平年より多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：平年並

事由：期間を通じて降水と日照があり順調に登熟している。7月20日現在の稈長は平年並、穂長はやや短い。穂数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.11	4.14	△ 3	4.11	4.14	△ 3
出芽期	(月.日)	4.24	4.28	△ 4	4.24	4.29	△ 5
出穂期	(月.日)	6.11	6.16	△ 5	6.08	6.14	△ 6
成熟期	(月.日)		7.28			7.31	
草丈 (cm)	5月20日	26.3	22.8	3.5	29.6	25.2	4.4
	6月20日	90	83	7	89	85	4
茎数 (本/m ²)	5月20日	908	669	239	839	607	232
	6月20日	938	635	303	938	638	300
7月20日	稈長 (cm)	92	90	2	87	88	△ 1
または	穂長 (cm)	8.0	8.4	△ 0.4	6.6	7.9	△ 1.3
成熟期 の	穂数 (本/m ²)	479	487	△ 8	525	487	38
子実重	(kg/10a)		527			585	
千粒重	(g)		41.5			45.9	
容積重	(g)		837			838	
品質	(等級)		1等			1等	
子実重	平年対比 (%)		100			100	

注) 平年値は、前7か年中、平成28年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均。

3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年より4日早い5月18日であった。出芽後の降雨によりクラストが発生したため、クラストを割って出芽促進を図ったが、出芽期は平年より5日遅い6月7日であった。出芽後低温気味に推移したことから、主茎長はやや短かった。主茎節数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:開花期は平年より1日早い7月16日であった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.18	5.22	△ 4
出芽期	(月.日)	6.7	6.2	5
開花期	(月.日)	7.15	7.16	△ 1
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	2.6	9.8	△ 7.2
	7月20日	47.7	39.5	8.2
	8月20日		51.3	
	9月20日		50.9	
	成熟期		51.2	
主茎節数 (節)	6月20日	0.0	2.9	0.4
	7月20日	9.1	9.3	△ 0.2
	8月20日		9.7	
	9月20日		9.7	
	成熟期		9.8	
分枝数 (本/株)	7月20日	4.1	6.5	△ 2.4
	8月20日		7.1	
	9月20日		6.8	
	成熟期		6.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日		74.2	
	9月20日		67.3	
	成熟期		67.0	
一莢内粒数			1.89	
子実重 (kg/10a)			408	
百粒重 (g)			39.0	
屑粒率 (%)			1.7	
品質 (等級)			2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月23日であった。出芽期は平年より2日早い6月11日であった。出芽以降は平年よりやや低温に推移したことから、6月20日現在の主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月6半旬のまとまった降雨の後、やや高温傾向に推移したことから、生育は平年より早く進んだ。開花期は平年より8日早い7月20日となった。7月20日現在の主茎長は平年よりやや長く、主茎節数はやや多く、分枝数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.24	△ 1
出芽期	(月.日)	6.11	6.13	△ 2
開花期	(月.日)	7.20	7.28	△ 8
成熟期	(月.日)		9.20	
主茎長 (cm)	6月20日	3.5	4.6	△ 1.1
	7月20日	19.1	16.8	2.3
	8月20日		60.5	
	成熟期		62.9	
主茎節数 (節)	6月20日	1.4	1.4	△ 0.0
	7月20日	9.0	7.4	1.6
	8月20日		14.6	
	成熟期		14.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	3.0	2.7	0.3
	8月20日		3.6	
	成熟期		4.3	
着莢数 (莢/株)	8月20日		45.5	
	成熟期		52.7	
一莢内粒数			6.15	
子実重	(kg/10a)		346	
百粒重	(g)		14.1	
屑粒率	(%)		6.6	
品質	(等級)		4上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年（最豊）、令和2年（最凶）を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数の平年値は平成30年も除いた4カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年並の4月4日で、植付期は平年より4日遅い4月23日、萌芽期は平年より1日早い5月20日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：6月上旬が低温に経過したことから、開花始は平年より2日遅く、茎長は短かった。茎数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降高温であったことから、順調に生育している。7月20日現在で茎数はやや多く、茎長は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	男爵薯		
	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	4.28	4.24	4
萌芽期 (月.日)	5.20	5.21	△ 1
開花始 (月.日)	6.19	6.17	2
枯凋期 (月.日)		8.27	
茎長 6月20日 (cm)	28	36	△ 8
7月20日	44	42	2
茎数 6月20日 (本/株)	5.2	4.7	0.5
7月20日	5.4	4.9	0.5
8月20日における			
上いも数 (個/株)		12.6	
上いも平均一個重(g)		83	
上いも重 (kg/10a)		4560	
でん粉価 (%)		15.2	
枯凋期における			
上いも数 (個/株)		12.7	
上いも平均一個重(g)		85	
上いも重 (kg/10a)		4723	
中以上いも重(kg/10a)		3880	
でん粉価 (%)		15.1	
上いも重平年対比 (%)		100	
中以上いも重 " (%)		100	
でん粉価 " (%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年平均。ただし、枯凋期は二次成長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。